

THEME

推進テーマ

園生活から小学校生活への**円滑**な**接続**を図るために

～**育ちと学びをつなぐ**連携と協働～



竹山地区

竹山南幼稚園
たけやまの森保育園
竹山小学校

REASON

推進テーマ設定の理由

- 小学校と幼稚園、保育園が**近隣**にあるので、交流がしやすい環境にある。これまで連携を図る機会をつくるよう意識してきたが、子どもたちの基本的な生活習慣や、体力等、さまざまな**変化**が見られる中で、今後より一層、幼稚園、保育園、小学校の**連携が必要**になってくると考えた。
- 小学校や幼稚園、保育園では、どのような生活、指導、支援をしているのかを**共有**し、**連携・協働**していくことが大切であると感じている。



CONTENT

推進内容

- 幼保小の顔の見える関係の構築
- 子どもの育ちと学びの連続性の理解
- 主体性、協働性を意識した保育・教育



PRIORITY POINT

今年度の重点課題

- ・ 4月 顔合わせ・年間計画について
- ・ 7月 音楽交流会①
- ・ 9月 情報交換
- ・ 10月 ミニ運動会
- ・ 11月 あきあそび・球根植え
- ・ 12月 音楽交流会②
- ・ 2月 小学校体験



幼稚園、保育園、小学校の子どもたちが実際に関わり合い、**お互いを身近に感じることが**できるようにすることに重点をおき、交流内容を考えました。

連携推進事業の実際①



音楽交流会 【発表を聞き合う・みんなで一緒に歌う】

音楽会に向けて練習し、「また会おうね！」などと声を掛け合い、次につながる交流になりました。



園や学校の音楽発表会で披露した歌や合奏を、見せ合いました！最後にはみんなで「勇気100%」を歌いました♪



「もっとみたいな。」「もっといっしょにあそびたいな。」と子どもたちの関わりたいという気持ちが高まりました。

情報交換 目指す姿の共有

- 小学校に入学する前にどのようなことができるようになるか？
- 次年度小学校に入学する児童の情報の共有
- 幼稚園・保育園はどんな声掛けをしているのか？
- 今後の交流の日程確認

事前に話したいことを考えておくことや、レジュメを作ることなどでスムーズに話し合いができるのでは？という話が出たので、次年度に生かしていきます。

など、たくさん情報を伝え合うなかでそれぞれの子どもたちの様子が分かりました。今後の**指導の方法を一緒に考え**たり、**児童をより深く理解**したりするのに役立ちました。

連携推進事業の実際③



ミニ運動会 【演技の見せ合い みんなで玉入れ】



「保育園でもあんなに難しいことをやるんだ。」「バルーン懐かしいな。」「玉入れが楽しかった！」など、振り返りの時間には、子どもたち同士で話をしながら盛り上がりました。

バルーンを使ったダンスや組体操、曲に合わせたリズムダンスなど、運動会の成果を見せ合いました！ふだんは見れないお互いの姿に、「かっこいいね」と刺激をもらっていました！



連携推進事業の実際④

あきであそぼう！準備



どうやってお店を開いたら楽しんでもらえるかな？と考えながら2年生に手本を見せてもらい、本番に向けて準備をしました。



2年生に教えてもらったことを生かしながらお店を作り、リハーサルをしました！

連携推進事業の実際④

あきであそぼう！本番



1年生が開いたお店で遊びました。わくわくしながら遊ぶ幼稚園生や保育園生の子どもたちを見て、1年生も自然と笑顔になりました。
振り返りでは、「楽しんでいることが顔を見て分かったから、準備をがんばってよかった。」と話していました。
「またやりたいな。」と張り切る姿も見られました。



チューリップの球根を植えよう



4月に入学したとき、たくさんのチューリップが咲いていますように…と願いながら、いっしょに球根を植えました。1年生は、Ipadを使いながら一生懸命説明をしました。

連携推進事業の実際⑥

音楽交流会②



当日は、緊張しながらも張り切る1年生！
新年度に向けて幼稚園や保育園の子ども
たちもやる気満々です！
「また会おうね！」「次も楽しみだね！」と声
を掛け合う姿が見られ、仲良くなってきた
ことを感じる事ができました♪

連携推進事業の実際⑦

小学校を体験しよう！

(2月実施予定のため一昨年度のもの)



いよいよ交流もまとめの時期に入り、気持ちが高まっている1年生たちです。幼稚園、保育園の子どもたちも入学に向けてドキドキワクワクしているようです。だんだん顔を覚えて仲良くなる様子も見られました♪

成果と課題

- 近隣にあるという点と、人数が少ないので、より**親密に**関わり、**顔や名前**を覚えることで**相手意識をもって活動**することができた。
- 小学校に**来校することが増え**、雰囲気を知ることができ、園児が入学に向けて**安心感や期待感**が高まった。
- 年長児の時から**顔と名前を知ることができる**ので、その**子どもの成長**が見られ、入学後スムーズに関わることができた。
- 情報交換を行い、**目指す姿を共有**したことで、毎回の交流会でも**見通しをもって活動**することができた。
- 就学後の**子どもの様子や困り**、就学までに身に付けておきたい**力等**を園の懇談会で**保護者に伝える**ことができた。
- 交流により、園児が**1年後の姿を想像して楽しむ姿**が見られた。

成果と課題

- ◆ 子どもたち同士の**主体的な活動**に向けて、**グループやペアでの活動の工夫**を**連携して**考えていく。
- ◆ 1年生の姿を**モデル**として、園児が次年度への**期待感**を膨らませられるような**指導**について考えていく。
- ◆ **見通し**をもって**日程調整を行う**ようにする。
- ◆ 園児が他との交流もあるため、**持続可能な交流**について考えたい。
- ◆ 話をした内容がうまく伝わっていなかったことがあったので、**レジュメ**などを**作成**し、記録した**同じ内容のデータ**を**共有**するようにする。